資料３

総合計画（基本構想）概念図

これまで（第六次総合計画）

2018年（平成29年度）

将来の都市の姿「生命都市いきいき前橋」

県都としての求心力や都市全体の活力を高めながら、「産業や人材を育み、皆が住みやすく、自然にもやさしく、文化が豊かであること」を基本に、人もまちも生き生きと輝く「生命都市いきいき前橋」を目指す

10年間

・基本計画
・実施計画

2008年（平成20年度）

将来の姿を予見することは不確実になりつつある

人類が未だ経験したことのない人口減少

産業構造の変化、IoT、AI等の著しい技術革新

地域経営の必要性

市民、企業・団体、行政それぞれが、他人ごとではなく「自分ごと」として、地域の課題を捉え、自主的・自律的に、また連携して課題解決に取り組むことが重要

これから（第七次総合計画）

20XX年

未 来

地域全体で共有していくビジョン
（未来に向かう羅針盤となる考え方）

「めぶく。～良いものが育つまち～」

前橋が永きにわたり培い、大切にしてきたまちの誇りや可能性、多様性を市民一人一人が受け継ぎ、自分ごととして磨き育み、新たな価値を生み出しながら、未来への襷として繋いでいく

2018年（平成30年度）

現 在